

No.1 西河原自治会 スマホ回覧板導入による回覧物・配布物の軽減・事務経費削減

- ☑活用媒体 : LINEオープンチャット
- ☑対象者 : 自治会内戸建て住宅（約540軒）
- ☑普及率 : 約60%
- ☑導入時期 : 令和4年9月～

☑導入の経緯

令和4年4月当時、全戸配布数は800軒以上（アパート等含む）、組数は24組あり、事務所での配布物に対する事前準備・コピー時間・費用・仕分けなど、自治会および事務員の負担は膨大なものになっていました。そこで住民の皆さんに回覧板について聞いたところ、「次に回すことだけを考えている」

「内容を見ていない」「あとで再確認できない」など様々な意見が出て、回覧板自体に意味がないことが分かりました。組長さんからは、「朝晩・休日等も忙しくしているので時間がない」「暑い日・寒い日・雨の日など大変である」などの意見を多数頂きました。これを機にシステムの導入を決め、色々調べたところ、初期投資費用・ランニングコスト・個人情報の取扱いが重要だと考えました。有料のシステムはたくさんありましたが、無料で、かつ個人情報保護のことも考え、LINEオープンチャットが最善だと判断しました。



※オープンチャット画面

☑効果

スマホ回覧板導入により、仕事上のムダ・ムリ・ムラ問題が解消され、仕事の効率化と簡素化につながり、事務所本来の仕事が出来るようになりました。多数の組長さんからも、「写真を撮って送信するだけなので負担の軽減になった。また、暑さ・寒さ・雨などを気にしなくてよくなり、事務を簡素化できた。」「回覧板の回収スピードが早くなり、大幅に手間を削減することができた。」と好評でした。

☑運用上の注意点

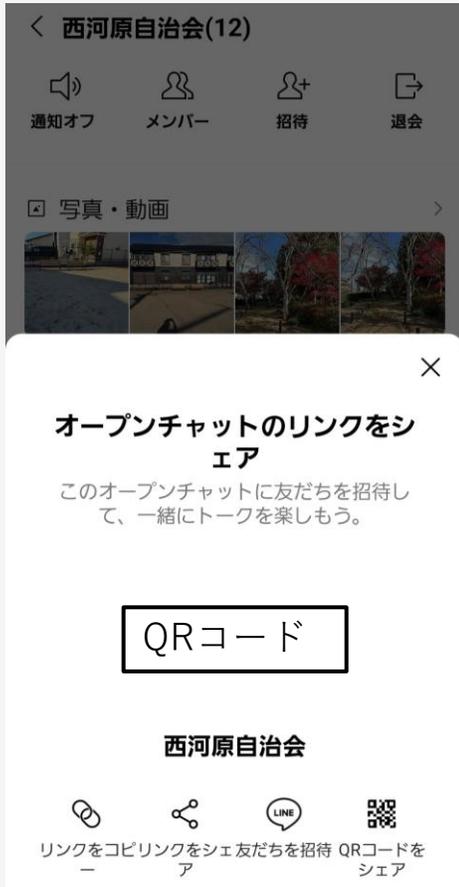
スマホ自体の取り扱いが苦手な組長さんもいることから、スマホ回覧板の取り組みは2年～3年のスパンで考えています。無理をせずゆっくりと浸透すれば良いと考えています。組長さんが1年毎に交代するため、引継ぎ方法も含めて事前に取り扱説明書なども配布しています。

☑今後の課題

当初、オープンチャットを始めるに当たり、全住民の皆さんに希望するかどうかのアンケートをとったところ、70%以上の方が希望していました。しかし、上記のように多くの希望者がいるにもかかわらず、実施できていない組もあります。諸般の事情もありますが、どのようにして”希望者全員”に実施していくか？が今後の課題と考えています。



オープンチャットは、
QRコードから参加できます。



出欠、投票、カレンダー、
ノートなどの機能を利用
できます。スケジュール表
では、事業計画や参加者
を確認できます。



オープンチャット
設定画面



西河原自治会インスタ
グラムを始めました！

2ヶ月に1回、“にしがわ
ら通信”をペーパーで全
軒配布していますが、
“若い人達”にも自治会
を“身近なもの”と感じ
てほしいという思いか
ら、年間の行事・まつ
り・体育祭の様子など
をアップしています。
下記QRコードからぜひ
アクセスしてご覧ださ
い。

